

日総研 月刊 ナースマネジャー 2015年2月号 掲載
 中小規模病院における新人看護職教育の変革～中小規模病院版カルガモ方式の導入
 (抜粋版)

当院は、常勤・非常勤看護職数は103名、新人の入職は、看護師、准看護師合わせて毎年1名～8名です。当院での新人教育の確立と、現場への業務負担の緩和を目的に中小規模病院版カルガモ方式(以下、カルガモ方式)を導入しています。

I. カルガモ方式とはどのような体制でしょうか？

- カルガモ方式：認知的徒弟制度をベースとした当院独自の中小規模病院版新人看護職教育制度です。
- 親看護師：カルガモ方式による新人教育を担当する看護師の呼称です。
- 子看護師：カルガモ方式による新人看護職の呼称です。

II. カルガモ方式の概要は？

①親看護師の認定

カルガモ方式の親看護師は、主任クラスの看護師で、教育者研修およびマネジメント研修を受講し、他部署からリリーフの形としています。

②カルガモ方式の実際

- 看護師と准看護師はチームを別にします。
- 期間は1年間で、4月初めから7月終わりまでを集中教育期間とし、8月以降は定点での教育を行います。
- 親看護師は隔週ごとに3日間、子看護師のいる病棟に赴き、子看護師に教育を行います。
- 最初の1日目は座学とし、子看護師は業務の1日の流れや記録物の書き方トレーニングなどを学習します。
- 2日目以降は午前実践指導、午後振り返りと追加学習を行い、次のステップのための座学を行います。
- 3日間の教育期間後、部署に習得した知識・技術を報告し、実践に反映してもらいます。また、親看護師不在中の指導を現場スタッフに依頼します。

表1 カルガモ方式による新人指導のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
カルガモ教育	➔					● 1日		● 1日		● 1日	
	親看護師は隔週3日ずつ病棟へ赴きOJT及びOFFJTを行う。また各月新人の指導状況の報告会を行い、指導の方針を調整する。					2ヶ月に1回カルガモを行う。病棟から依頼のあった技術のOJTを中心に、新人の状況の把握を行い指導方針へのアドバイスを行う。					
病棟での指導	➔										
	カルガモで習得した技術の習熟と親看護師からの依頼内容の学習を中心に行う。					プリセプターを中心にOJTでの指導を行う。カルガモ教育のあった月にはカルガモ会議を行い、新人の指導方針を話し合う。					

Ⅲ. カルガモ方式で指導を受けた子看護師の感想です

- わかりやすく丁寧に指導してもらえた。
- 指導者が親しみやすかった。
- 座学の時間があったので、手技などのイメージができてから実践ができた。
- どこから勉強すればよいかアドバイスがもらえた。
- レントゲンなど以前のデータとの比較の仕方を学んだ。
- 基礎技術の習得ができた。

Ⅳ. カルガモ方式の結果は？

指導時間の確保と指導の質の向上が図られ、子看護師は早期に様々な業務が自立して行えるようになっていきました。「仕事を早く覚えなければならない」というストレスが軽減され、子看護師の職場適応が促進されています。

Ⅴ. 新人に合った教育を考えます

カルガモ方式も、今年度で4年目を迎えました。

新人が「これはできる」と1つ1つに自信を持ち患者様に向き合う姿はとても頼もしいです。新人の成長と定着はスタッフの励みになり、チーム力の安定につながっています。

第2新卒の看護師の方もいらっしゃいます。個人個人への柔軟な対応で、新人の方の成長を支える取り組みです。

表2 カルガモ方式の流れ

